

働きやすい現場を作る！ 償却資産業務専任化の中での事務改善

川崎市 かわさき市税事務所資産税課 償却資産担当
鈴木 健也 氏
佐藤 健太 氏

働きやすい現場を作る！

～償却資産業務専任化の中での事務改善～



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

本日の発表内容

- 1.専任体制への移行
- 2.現場の課題への対応
- 3.電子ツールの導入



Colors, Future!

いろいろって、未来。

川崎市

1. 専任体制への移行～経緯～



家屋・償却兼務体制の課題

- 家屋評価が業務の中心となり、通年で償却資産業務が困難
- 実地調査の拡充や、知識の積み重ね・継承が困難

償却専任体制への移行

- 固定資産税業務の専門性・効率性の向上を目指す
- 令和5年度から家屋、償却資産をそれぞれ専任化

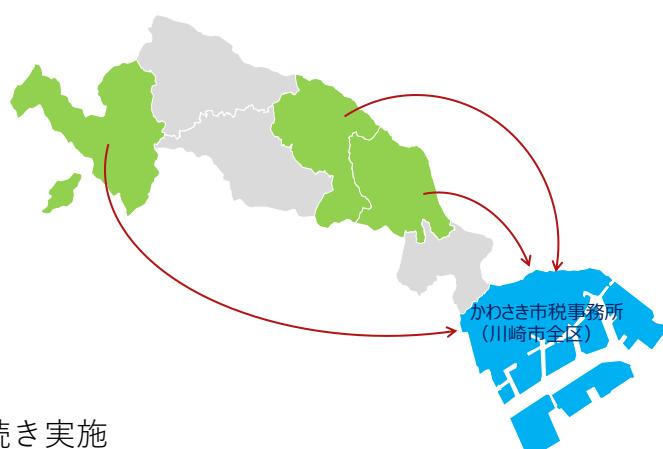
1. 専任体制への移行～概要～



専任化による変化

- 部署名 償却資産担当
- 職員数 約70人→14人
- 事務所数 1事務所へ集約
- 通年で償却資産業務を実施

※家屋業務は各市税事務所で引き続き実施





2.現場の課題への対応



執行体制の課題 事務分掌、年間事務計画、外部委託…

- 計画段階で見通しを立てて議論ができる
- 要領、仕様書等であらかじめルール化ができる

業務運用（現場）の課題

- 計画段階では全てを見通すことはできない
- 実際にやってみないと分からない！



2.現場の課題への対応 ～通年事務～



14人でやった結果見えてきた業務の課題

- 受電・架電を伴う業務が多すぎる
- 紙ベースの処理が大多数
- 調査の案件ごとにメリハリがない



業務ロス

実地調査業務を拡充するため
“ロス”を削減し、“時間”を捻出する必要性

2. 現場の課題への対応 ~通年事務(広報①)~



申告の手引の見直し

申告の手引を「初めて申告する人」向けに加除修正

令和7年度申告の手引



詳細は[こちら](#)から

※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です

主な変更点

- 提出前チェックシートを追加
- 申告にあたってのお願いを追加
- 詳細はQRコードでHPに記載
- ページ数を4ページ削減
- よくある質問(Q&A)を追加
- 標準的な耐用年数を記載

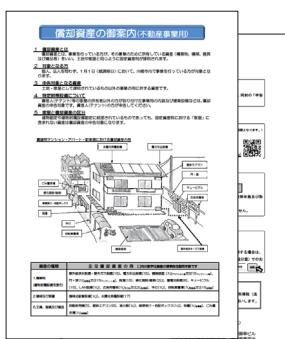


2. 現場の課題への対応 ~通年事務(広報②)~



制度案内チラシの見直し

家屋評価時に配布している償却資産の案内チラシを修正



制度案内チラシ
(不動産事業用)



制度案内チラシ
(一般事業用)

主な変更点

- イラスト、資産例を大幅見直し
- 標準的な耐用年数を記載
- 一般事業用と大規模事業用を新たに作成





2. 現場の課題への対応 ~通年事務(調査①)~



資料収集の頻度向上 & 即座の制度周知

➤ 資料の収集回数を増やし、調査後速やかに案内を送付

専任化前	調査	収集頻度	制度周知のタイミング
	法人	年1回	定期課税時のみ
	保健所		

専任化後	調査	収集頻度	制度周知のタイミング
	法人	年9回	現年中開業 → 定期課税時
	保健所	年3回	前年以前開業 → 隨時

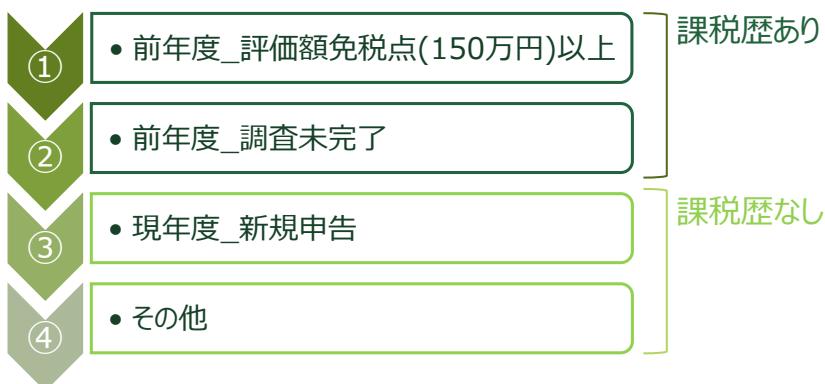


2. 現場の課題への対応 ~通年事務(調査②)~



優先度の設定

➤ 未申告者への申告しようとする際、課税が見込める者から優先的・重点的に調査を実施





2. 現場の課題への対応 ~通年事務(調査③)~



電話番号の名寄せ

- 各種調査で架電をする際、同一税理士、同一法人は同一の職員がまとめて連絡



2. 現場の課題への対応 ~通年事務(効果)~



- 広報の見直し、調査手法の効率化により事務ロスを削減
- 捻出した時間を調査業務に再投資したことにより、専任化前と比較して調査完了件数が増加

調査項目	専任化前	専任化後	専任前比
義務者	1,057件	1,400件	約1.3倍
未申告者	765件	1,110件	約1.5倍

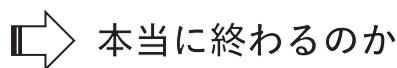


2. 現場の課題への対応 ～定期課税～

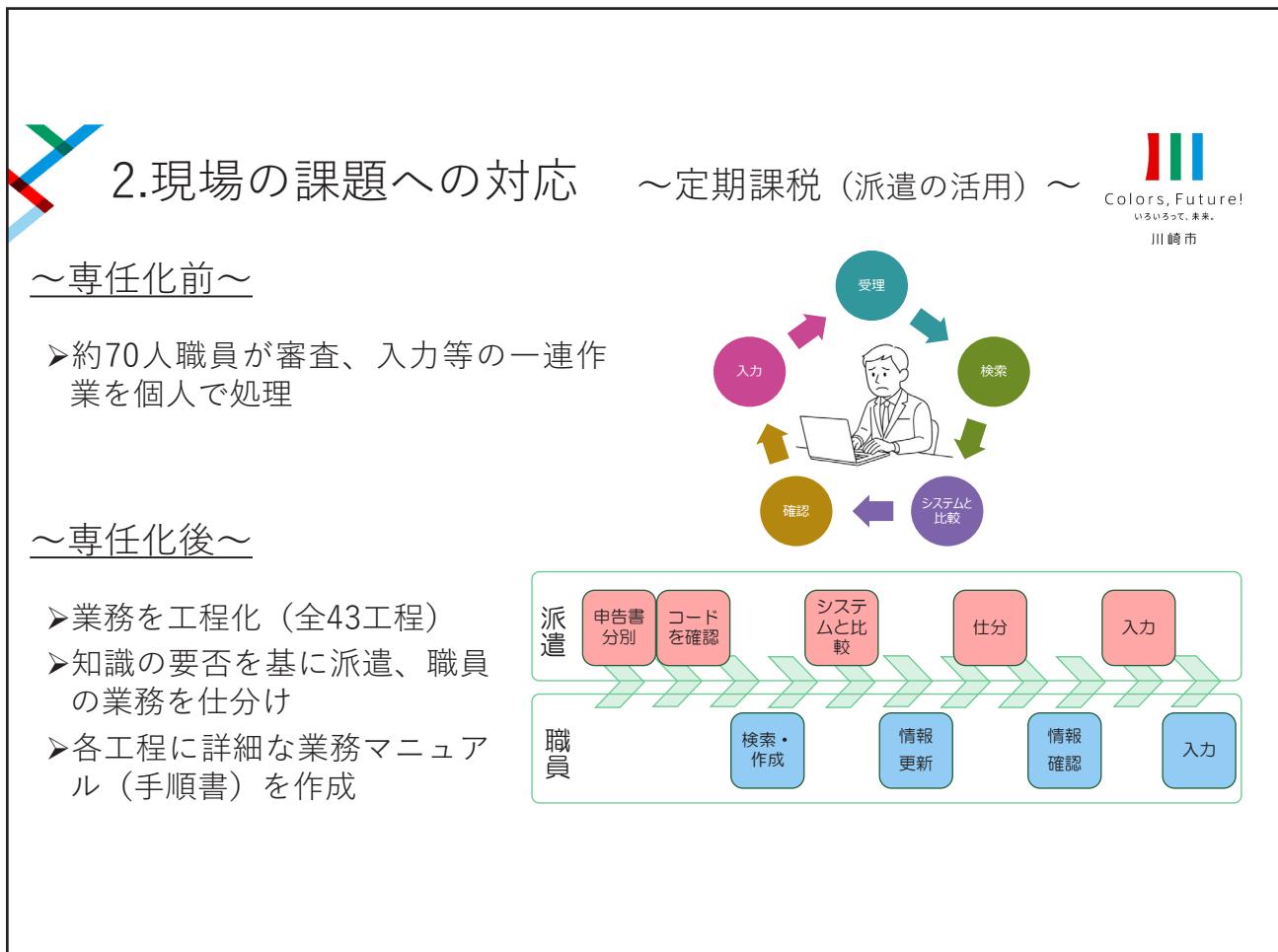


14人+ α で定期課税を迎える不安

- ▶ 民間からの派遣職員（10人）は償却資産の知識がない
 - ▶ 約28,000件の申告書が1事務所に集約する



大量の申告書を期限内に処理するため
派遣職員の**“最大活用”**、適切な**“進捗管理”**が必要

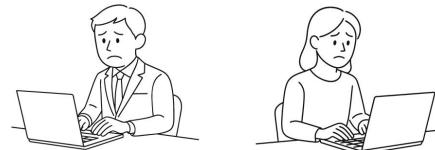




2. 現場の課題への対応 ~定期課税(進捗管理)~

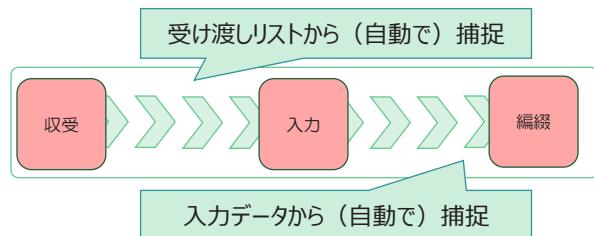
～専任化前～

- 件数をとりまとめることはせず、それぞれの職員が期日までに処理



～専任化後～

- ベルトコンベア型の手順を作成
- 手順の要所に進捗管理ポイントを設定
- ピーク時も落ち着いて処理
- 処理完了の見通しが明快



2. 現場の課題への対応 ~定期課税(効果)~

Colors, Future!
いろいろと、未来。
川崎市

- 令和6年度課税の課題を踏まえ 工程、手順書を見直したことで、令和7年度は進捗が計画を上回り、結果として残業時間及び休日勤務日数が改善！
- 令和8年度に向け、さらなる見直しを実施中

課税年度	マニュアル	進捗	残業／人	休日勤務／人
令和6年度 (結果)	新規作成	計画通り	35時間	4日
令和7年度 (結果)	見直し	計画以上 (前倒し)	30時間	3日
令和8年度 (想定)	見直し中	計画通り (見込)	25時間 (見込)	3日 (見込)

-72-

3. 電子ツールの導入 ~申請のオンライン化~



市民利便性の向上

➤ いつでも・どこからでもオンラインで手続きが（スマホでも）可能な電子申請ツールを導入

送付書類にQRコードを掲載



※QRコードは(株)デンソーウェーブの登録商標です



電子申請ツール導入中の業務

- 資料の提出（左記QR参照）
- 該当資産なしの連絡
- 廃業、解散等の連絡
- 書類送付先変更の連絡



3. 電子ツールの導入 ~RPA①~



申告書のPDF化

- eLTAXにより提出された申告書はRPAにより全てPDF化し、原則として印刷物は申告書(26号様式)のみ！
➤ 印刷に要する時間、保管スペースを大幅に削減！

	導入前	導入後
印刷対象	申告書+明細書+添付書類	原則申告書(26号様式)のみ
保管スペース	5cmファイル約450冊/年	5cmファイル約200冊/年
公文書登録	紙	電磁的記録
休日出勤	あり（申告書の印刷のために）	なし

※ R7定期課税 eLTAXによる申告件数：19,852件/全市



3. 電子ツールの導入 ~RPA②~



定型・反復作業の自動化

➤ e L T A X で提出される申告書の**定型的・反復的な処理**

(申告書と一致する納税義務者を課税台帳から検索し番号を申告書に記載する作業)
を R P A に実施させることで、**人的ミス、時間的ロスを大幅に削減！**

(定期課税期間中の効果)

	導入前	導入後
台帳検索	氏名等から検索	自動化
検索時間	330時間	0
所有者コード	台帳から転記	自動印字 (印字後に派遣が補記)

※ R 7 定期課税 e L T A X による申告件数：**19,852件/全市**

